

【第3号議案】

結成宣言（案）

本日ここに、私たちは熱い思いの中で、愛知におけるたたかう労働組合を総結集した愛知県労働組合総連合（愛労連）を結成しました。

いま日本は世界でも有数の経済大国といわれ、大企業のもうけは史上最高の記録を毎年ぬりかえつづけています。しかし、私たち労働者の生活は、残業なしでは暮らしていけない低賃金、過労死に象徴される長時間・超過密労働、資本の専制支配のもとでの過酷な人べらし「合理化」、異常に高騰した土地と住宅、病気や老後の不安、若者から青春を奪う激烈な受験戦争、とめどなくすすむ公害と環境破壊、侵される言論の自由、自衛隊の増強と米軍基地の強化、核戦争の不安など、「豊かさ」とはほど遠く、職場・地域には、平和で民主的な人間らしい生活をもとめる切実な要求が満ちあふれています。

私たちの愛労連は、何よりもまず、この切実な要求を実現するために結成されました。

戦後四十数年の今日、揺れ動く国際情勢のもとで、日本の社会は経済的にも政治的にも多くのはげしい矛盾に直面しています。日米経済摩擦の激化と参議院選挙での自民党の歴史的敗北はその象徴です。財界と自民党は、こうした矛盾をのりこえてその支配力を維持するために、アメリカへの追随をいっそう深めながら、犠牲の一切を労働者と国民におしつける「21世紀戦略」を強行しようとしています。そのために議会制民主主義をふみにじって政治反動を強化し、野党勢力の分断・取り込みと労働運動の弱体化・体制内化をはかっています。

「連合」は、反共主義と労資協調路線によって、たたかう労働者と労働組合を選別・排除した組織で、労働戦線の統一とはまったく無縁のものです。しかも「連合」は財界と自民党の「21世紀戦略」を公然と支持しています。

私たちの愛労連は、思想・信条の違いを越えて労働者の生活と権利を守るためにこそ生まれたという労働組合の原点にたつて、

1. 「資本からの独立」「政党からの独立」「一致する要求での行動の統一」を三原則として設立されます。
2. 県段階の産業別労働組合と地域的に労働組合を結集した地域組織とを、対等平等の構成単位として設立されます。
3. いかなる政党の支持も排除もせず、組合員の政治活動・政党支持の自由を完全に保障します。
4. 「みんなで決めて、みんなでたたかう」という労働組合民主主義の徹底をはかります。
5. 労働組合を持たない労働者の生活と権利を守るたたかいを重視し、労働組合への組織化に力を注ぎます。
6. 少数意見を尊重して、広範な労働組合の結集をはかり、労働戦線の統一をめざします。
7. 労働者を中心に農民や中小業者を含めたすべての働く人々を結集した、国民的規模の統一闘争を組織するために力をつくし、革新統一戦線の樹立をめざします。

愛知県労働組合総連合の結成にあたり、私たちは、百年にわたる日本の労働運動の積極的なたたかいの伝統を引き継いで、すべての働くもの人間らしい生活を実現するために、日本の輝かしい未来のために、そして世界の恒久平和のために、全力をあげてたたかうことをここに宣言します。

1989年11月17日

愛知県労働組合総連合結成大会